

事業所名

こども支援ルームはぐはぐ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念	得意を伸ばして自分らしく生きる力を育みます								
支援方針	就学に向けて、そしてその先も見据えて、 ◇小集団の中の一人一人を大切に、子どもを真ん中にした支援を行います ◇子どもの「やってみよう！」の気持ちを大切に、たくさんの「できた！」経験を積み重ねていけるよう支援します								
営業時間	9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します ・お弁当やおやつを食べる（準備や片づけを行う） ・清潔を保つ（手洗い、うがい） ・トイレトレーニングを行う（トイレやオマルに座る）							
	運動・感覚	微細運動（手や指先を使った動作。力加減や目と手の協働が身につくよう支援します） ・製作、積み木、パズル、洗濯ばさみ、紙コップ遊び、スプーンやお箸を使った遊び など 粗大運動（姿勢を保つ、バランス感覚、ジャンプ、体操 など。目と手、手と足など複数の箇所を同時に動かす協調運動も含み、力加減や身体の使い方が身につくよう支援します） ・サーキット・ボール遊び・平均台・戸外遊び など 日々のプログラムの中で、五感を刺激する活動を取り入れています							
	認知・行動	朝の会の繰り返しの活動や日替わりプログラムの中で、適切な認知と行動の習得を支援します ・お友だちや職員の名前を覚える ・物の名前を覚える ・お話を聞いて行動に移す ・時間の流れを理解する							
	言語 コミュニケーション	活動を通し、お友だち同士のコミュニケーションを楽しんだり、自分の気持ちを表現する力を育みます ・相手の顔を見る ・自分の要求を伝える ・ジェスチャーを使用する ・言葉の模倣をする ・必要な言葉を知る							
	人間関係 社会性	ルールのある遊びや日々の活動の中で、集団スキルや社会的スキルを育みます ・挨拶をする ・ルールを守る ・順番を守る ・自己理解を深める							
家族支援	困りごとがあった時にいつでも相談できる環境を整えます。 参観、保護者交流会、きょうだい参加できるイベント等を開催します。 預かり型療育により、レスパイトケアの役割を担います。			移行支援		子どもたちが通う保育園や幼稚園、就学先や放課後デイサービスとの連携、情報共有を行います。			
地域支援・地域連携	子どもたちが通う保育園や幼稚園、他の事業所等と情報共有するなど連携を図ります。北区自立支援協議会のこども部会への参加や、ご近所の方にお手伝いいただくイベントを実施しています。			職員の質の向上		各種勉強会や研修に参加し支援に役立てます（障がいへの理解、支援方法、虐待防止、BCP、感染症、救急法 など）。毎月の職員会議の開催に加え、子どもの様子や支援について話し合う機会を設けています。			
主な行事等	季節の行事（七夕、ハロウィン、クリスマス、節分など）、参観、保護者交流会、夏まつり、水あそび、野菜の栽培・収穫 避難訓練（毎月）								